



### スカイグリーンパークと大坂台公園の 運営管理業務委託料を問う

守谷 浩一 議員(日本共産党)

本市は、キャンパス座間返還地公園のスカイグリーンパークと大坂台公園の運営管理業務を委託するに当たり、広範かつ高度な知識と経験を有する運営事業者を公募型プロポーザル方式により選定します。プロポーザル実施要領に、運営管理業務委託料の予算限度額は2年間で6095万1千円(消費税含む)とありますが、職員の人件費やパークゴルフ場の維持費、多目的広場の維持費など、予算の主な内訳を伺います。

また、運営管理業務委託仕様書には、各施設の運営で発生する公園施設の修繕等は、委託者の負担とあります。本市が修繕費を負担するという意味ですが、本市が負担するのであれば、委託するメリットが減ると考えますが、見解を伺います。

**都市部長** 予算の主な内訳について、1年当たりの人件費は2施設で約2千万円であり、3名分です。維持管理費はパークゴルフ場が約500万円、多目的広場が約300万円です。また、運営管理業務委託には公園施設の修繕費を計上して

いないため、本市で負担しますが、今後2年間の運営管理業務委託を行いながら、指定管理者制度の導入時に必要な公園施設の修繕費用を算定していきたいと考えています。



### 広域避難場所の指定と二次避難所 (福祉避難所)の設置について

清水 剛 議員(自民党・いさま)

広域避難場所は、指定緊急避難場所のうち、地震により同時多発の火災が発生し、延焼拡大した場合に、住民が生命・身体の安全を確保できる場所であり、大きな公園やグラウンドなどが指定されていますが、新田宿グラウンドが指定されていない理由をお聞

きします。二次避難所は、福祉避難所と呼ばれ、高齢者や障がい者などの災害時要配慮者が避難する施設で、最初に一次避難所へ避難し、災害時要配慮者の状況により、必要に応じて開設されます。二次避難所は災害時要配慮者の付添いの方も一緒に利用できるのか伺います。また、災害

時要配慮者の振り分け基準や専門職の人員配置が決まっていればお示しください。

**市長室長** 新田宿グラウンドは、災害時に緊急輸送用ヘリコプターの臨時離着陸場や県のドクターヘリ離着陸場に指定されており、安全管理上、広域避難場所に指定していません。延焼時の避難先として西中学校等に避難していただくよう周知に努めます。



### 感染症等で自宅待機となる児童・ 生徒への学習支援について

京免 康彦 議員(自民党・いさま)

新型コロナウイルス感染症への不安等で登校できなかった児童・生徒への学習支援は、どのように対応されているのか伺います。また、感染症等で自宅待機となる児童・生徒への学習支援について、課題と考える点を伺います。

**教育長** 登校できなかった児童・生徒への各々の学習支援の現状について、プリントなどの個別課題に加えて、生活リズムの維持や担任、クラスメイトとのコミュニケーションの継続を目的に、朝の会や帰りの会をオンラインでつなぐ取り組みや授業の一部をオンラインで配信するなどの取組を行っています。また多くの学校で、

学習用端末を使い、デジタルドリル教材を各自のペースで繰り返し学習することも取り入れています。学習支援の課題について、どのような学習支援が適しているのか家庭と学校が相談した上で検討しますが、対象家庭の状況によつては、話し合いを持つことが困難な場合も想定されます。学習用端末を活用して、オンラインで家庭と学校が相談することが理想ですが、通信に不具合が発生した場合は、別の方法の検討や通信の早期回復を図る必要があります。今後小・中学校と連携し、保護者の理解を図りながら、課題解決に努めていきます。



### 希望者への新型コロナウイルスワクチン接種 会場への移動支援を求める

荻原 健司 議員(自民党・いさま)

令和3年第2回定例会で私たち自民党・いさまが提出した新型コロナウイルスワクチン接種への市民に寄り添った対応を求める決議は、提出会派に加えて、ごま大志会、座間市公明党、共産党座間市議団の議員18名の賛成で可決されました。同決議で求めた電話受付の改善などの対応に感謝していますが、一方で、ワクチン接種会場への移動支援

については、残念ながら今定例会の補正予算においても対応されませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響による不用額の増加などによって、過去最高額となる28億円を超える財政調整基金が積ま

れた中で、移動支援に着手しなかったことについて見解を伺います。移動支援について、新たにバスを手配してワクチン接種会場へ送迎することが理想ですが、コミュニティバスや路線バスの運賃を補助する支援は行えないのでしょうか。移動支援事業を行うこと

で、3回目のワクチン接種が進み、感染拡大防止が期待できると考えますが、見解をお示しください。



### 新型コロナウイルス感染症 ごよも早い3回目のワクチン接種を求める

上沢 本尚 議員(座間市公明党)

今後の新型コロナウイルス感染症対応は、感染の第6波への備えや3回目のワクチン接種という新たなステージを迎えています。医療分野での対応が多く、行政でできることは多くはないかもしれないが、もつと市民のためにできることがあったという1、2回目のワクチン接種の反省を踏まえるべきだと思います。

本市は令和3年11月22日時点で、2回目のワクチン接種が完了した人の割合が県内で最下位でした。近隣市では、いち早く自宅療養者を支援する窓口を設置しました。また、小・中学校の教職員に対して、市外在住者でも市内在住者と

一緒にワクチン接種を行いました。別の市では、仕事で昼間のワクチン接種の予約ができない市民に対して、予約なしで夜間のワクチン接種を行っています。接種率向上の施策を行っています。いずれも本市は行っており、本当に残念なことです。施策の決定について、最後は市長の判断です。決して3回目のワクチン接種が他市に後れを取らないように求めますが、所見を伺います。

**市長** 施策の決定については、職員体制や医師会のご意向などを踏まえた上で総合的に判断したものです。3回目のワクチン接種へも順次対応していきます。



### 議会軽視・日本国憲法に係る質問に 対し市長が答弁で条件提示!

沖本 浩一 議員(ごま大志会)

市長の日本国憲法に対する所感をお聞きします。令和3年10月に執行された衆議院議員総選挙の結果、自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の改選勢力とされる4党で345議席となり、憲法改正の国会発議に必要な3分の2の議席を超えました。これを踏まえて、岸田首相は令和3年11月10日の記者会見で、党是である憲法改正を進めるため、党内の体制を強化すると表明し、国民的議論のさらなる喚起と国会における精力的な議論を進めると語ったと報じられています。令和3年12月6日に行われた岸田首相の所信表明演説においても、

国会議員は憲法の在り方に真剣に向き合う責務があるとして、与野党の枠を超えた国会議論に期待感を示されました。こうした現状も踏まえて、市長の憲法改正に対する見解を伺います。

**市長** 憲法改正について私見を求められました。憲法改正については、国会の場で議論され、国会発議により、現状においては国民投票で過半数の賛意が示された上で改正されるものであると認識されています。これ以上の見解を求められないようでしたら、ぜひ沖本議員のお立場やお考えなども明確にしたいだけだと思います。

### 請願・陳情の 提出について

請願陳情はいつでも受け付けています。提出された請願陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。請願陳情の記入例は市議会のホームページをご覧ください。なお、提出の際にご不明な点や定例会ごとの締切日は、議会事務局にお問い合わせください。☎046(252)8872

